



発行
日本共産党
寝屋川市委員会
072-823-0058
FAX: 823-4336
No. 3466

寝屋川市会議員

中林かずえ
宝町 4-33
090-3944-8385
寝屋川市会議員

松尾信次
下木田町 12-6
090-3056-9924
寝屋川市会議員

西田さみ
石津中町 30-3
090-9713-3588

前寝屋川市会議員

太田とおる
高柳 2-49-2
080-3818-9722

京阪バス廃止路線の代替案の具体化を

12月市議会 松尾議員が求める



公共交通の確立 国が責任果たすべき

12月市議会一般質問で、松尾議員は京阪バスの路線廃止と地域公共交通の確立について、質問しました。要旨は以下の通りです。

11月1日、京阪バス株式会社は市内3路線の来年3月末での廃止を公表しました。これが廃止されると年間でのべ約20万人の利用者の足が奪われます。松尾議員は「黒原・高柳地域は京阪の駅から離れているので、バスが利用できることで、大変助かっている」「高柳で自転車に乗れないので、寝屋川市駅方面に行くときなど、助かっている」「河北地域は寝屋川市の中心部からいちばん離れている。交通不便なので、廃止は困る」などの存

続を求める声の一部を紹介。寝屋川市は廃止路線の代替案等の対応策を検討するとしています。が、具体的な見通しを明らかにするよう、求めました。各市でバス路線廃止の動きです。この問題でも国の責任は大きいものがあります。鉄道を含め、地域交通を運営で採算をとるとか、事業として採算をとると考えている国は、○

ECD諸国では日本だけです。地域交通で、事業者の経営努力だけで採算がとれている国はありません。過疎地では、地元業者とも相談して地域が公共交通計画を立て、支援の必要性を明確にすれば、国が支援することになります。松尾議員は大都市部でも国の公的支援が必要と、具体化を求めました。

外出が多いほど高齢者の健康につながる

公共交通は地域の崩壊を防ぎ、維持するうえできわめて重要です。「クロスセクターベネフィット」といって、従来なら交通は交通で予算をつけ、そこでどういう効果が出たかを評価していたのを、交通にお金を入れること

で福祉予算が減るのならそれでいいという発想が出てきています。例えば、高齢者は外出が多いほど寝たきりになりにくいので、税金を投入してバスを走らせ、外出しやすくなれば、寝たきりの人への公的負担が増えるのを

防げます。松尾議員は都市部でも、国や大阪府の負担が必要と、具体化を求めました。全国的にも、公共交通機関を利用している人や、利用している人が行く病院などの意見を聞いているところは、

路線計画なども充実しています。松尾議員は寝屋川市として、バス路線をはじめ、今後の公共交通について、住民の意見をしっかりと聞くべきと指摘しました。

国民健康保険料引き下げ 寝屋川市が努力を尽くすこと

松尾議員は国民健康保険について質問しました。

来年度から大阪府では国保の完全統一化が実施されようとしています。

22年度の例では、府内の統一保険料は所得200万円の4人世帯

で年41万円。名古屋市が23万円、横浜市が26万円、神戸市が33万円などと比べて大阪府がいかに高いかがわかります。

松尾議員は「全国一高い国保料の引き下げこそ最優先課題」と強調しました。

松尾議員は以下の3点を求めました。

- 1, 国民健康保険法では「市町村が保険料の賦課を行う」と定めている。寝屋川市として国保料引き下げの努力をつくすこと。
- 2, 大阪府に保険料完全統一化の延期・中止

を求めること。

- 3, 国に国庫補助金の引上げ、18歳までの子ども均等割り免除を求めること。



市政報告会

12月24日(日)

午後1時

日本共産党寝屋川市委員会にて

法律相談

日時：12月21日(木)
午後6時半～

場所：日本共産党
寝屋川市委員会
(八坂町15-35)

相談を希望される方は下記に電話を
中林 090-3944-8385
松尾 090-3056-9924
西田 090-9713-3588
太田 080-3818-0722



自治体が率先して非正規職員の待遇改善を

12月市議会 松尾信次議員が質問

寝屋川市職員の5割が非正規職員

格差是正・ジェンダー平等推進を

松尾議員は非正規職員の待遇改善などについて、質問しました。要旨を紹介します。

寝屋川市では、12月市議会での人件費の精算補正で一般会計では、正規1116人、非正規1134人と非正規職員の数が上まわる状況となっています。

非正規は児童指導員、教員、図書館司書、給食調理員などの専門職が多くを占めています。今年4月1日現在で事務補助、児童指導員などは年収200万円前後のワーキングプアの状態。

在籍年数は10年以上が17%、5年以上で4割。年齢は50代から70代で7割。低賃金・不安定雇用で若い人が少ない。女性が76%、男性24%などとなっています。

松尾議員は、改善の提案をおこない、見解をもとめました。第1に、恒常的な仕事は正規公務員が担うことを原則とすること、公務員についても入口規制を導入し、非正規

公務員は1年を超えない臨時的・一時的な仕事に従事させることが必要な場合に限定すること。

現にその仕事に長年従事してきた非正規職員が希望する場合には、第3に、正規雇用と非正規雇用の格差の是正です。

地方公務員では正規の男性を100とするのと、非正規の女性は43と大きな格差があります。ジェンダー平等を実現するためにも非正規と正規、男性と女性の格差是正をはかること。

第4に、会計年度任用職員の待遇改善についてです。

会計年度任用職員は非正規の待遇改善のためとして2020年4月から導入されました。実際には待遇改善につながっていないといえず、恒久的な仕事でも非正規公務員を充てること、公務員が担うことを固定化する役割をはたしています。

民間の非正規労働者に適用されている労働契約法に準じ、会計年度任用職員も本人が希望する場合、無期雇用への転換ができるよう、制度改正を行うこと。

会計年度任用職員が 継続して働けるように

正規職員への道を開くこと。これらのための制度改正をすすめることをもとめました。第2に、非正規公務員の最低賃金を1500円以上に引き上げることについてです。

現行の「公募ルール」は長年勤めてきた会計年度任用職員を改めて新規採用と一緒に、毎年「公募」に応募させようとするものです。安心して長く働き続け

市役所は地域の最大の事業所の1つで、その公的役割を考えると、他の事業所の模範となる使用者となる責任があります。引き上げの具体化を求めました。

られるよう、公募は新規採用に限定することを求めました。

議員時評



松尾 信次

私は12月18日で75歳になります。34歳で初めて市会議員選挙で当選させていただいたので、早いものです。当初は今の年齢で市会議員をつとめるなど、考えもしませんでした。多くのおみなさんに支えられてのもの。感謝の気持ちでいっぱいです。辛い健康ですので、市民要求実現へがんばりたいと思います。

11月中頃から、おなじ通りのすぐ近くに引越しました。幸い今までより広くなりましたので、有効に活用できればと思います。引越などにご協力いただいたみなさんに感謝です。

